

記念講演

AIが変える教育 —英語教育を例に—

2022年にChatGPTが公開されるとともに、AIは急速に世界に普及し、その進化は目を見張るものがある。Q&Aのソースとして知識や情報を得るためのツールとしての使い方はもはや日常となっているが、今やその用途は、画像・動画作成、作曲や音声処理、文学創作、文書作成、ファイル操作などもこなし、複雑な作業をAIが自らの代理人（エージェント）となって行えるところまで進化している。

この講演では、AI開発の歴史を辿ることから話を始め、教育現場にも普及が進むAIの一つであるGoogle Geminiの機能について詳述し、今後のAI開発がどう進展するのか、予想される知見をまとめたい。



講師

石塚博規先生

放送大学北海道学習センター(旭川)客員教員
北海道教育大学名誉教授
東川町研究開発学校運営指導委員会運営指導委員、小学校英語教育学会理事などを歴任
専門は複合情報学

2026

9/19 土

13:00～17:00

放送大学北海道学習センター
大講義室 / Zoom同時配信

札幌市北区北17条西8丁目北大構内
Zoom ID : 822 9727 6310
パスコード : 401977



アクセスMAP

申込不要

参加無料



放送大学 研究発表

発表1 「首尾一貫感覚がレジリエンスに及ぼす影響」

放送大学教養学部 心理と教育コース卒業

星野 未羽 氏

発表2 「放射線診療受診者のための装置表示線量から被検者被ばく線量推定を試みる実験的検討」

放送大学大学院文化科学研究科 修士課程修了

目黒 靖浩 氏

主催

第22回
放送大学研究発表会実行委員会

共催

放送大学北海道学習センター

後援

北海道教育委員会・札幌市教育委員会

お問合わせ

第22回放送大学研究発表会実行委員会
札幌市北区北17条西8丁目 放送大学北海道学習センター内

お問合わせ
フォーム



<https://forms.gle/NNgk5NTHsuzRdKqQ8>

発表1 「首尾一貫感覚がレジリエンスに及ぼす影響」**星野 未羽 氏**

【プロフィール】
北海道室蘭市出身
2026年3月 放送大学教養学部心理
と教育コース卒業
札幌市内でSEとして就業

【概要】

心理的なレジリエンスとは、逆境を乗り越え適応する能力や性格特性を表す。近年、健康とレジリエンスの関連性についてはよく検討されるテーマの一つである。しかし、レジリエンスには直接健康を作り出す機能は含まれていない。そこで、近年レジリエンスの一種とも言われる首尾一貫感覚が存在する。首尾一貫感覚は、その生成の方法や健康への寄与の仕組みが理論化・体系化されている。首尾一貫感覚とレジリエンスは、近い概念ではあるが様々な相違点が挙げられている。しかし両尺度の比較は不十分である。レジリエンス尺度の一つに、レジリエンスを生来的な要因と後天的な要因とに分類した二次元レジリエンス要因が存在する。二次元レジリエンス要因と首尾一貫感覚を比較することで、両者のどの部分がどのように対応しているかを検討することができる。また、多くの人々がアプローチしやすい活動であるサイクリングを趣味とする人たちに焦点を当て、運動習慣やサイクリングのどのような部分が首尾一貫感覚やレジリエンスに寄与しているかを検討する。

**発表2 「放射線診療受診者のための装置表示線量から被検者被ばく線量推定を試みる
実験的検討」****目黒 靖浩 氏**

【プロフィール】
北海道札幌市出身
北海道大学医療技術短期大学部診療
放射線技術学科卒業／大学評価学位
授与機構にて保健衛生学士取得
2026年3月 放送大学大学院文化科
学研究科生活健康科学プログラム修
士課程修了

【概要】

2020年、医療法施行規則の一部改正により医療機関には医療従事者と患者の情報共有が義務付けられた。しかし、胃X線検査装置の表示線量は被ばく線量として妥当性に疑問があり補正運用の必要が生じた。本研究では実験的にX線出力条件間の関係性を線形回帰分析によりモデル化し、表示線量から被ばく線量を推定するアルゴリズムの設計を行った。その上で計算精度及び表示線量との差異を明らかにすることを目的とした。方法としてX線透視撮影装置を対象にファントムと非接触型X線分析器を用いて透視撮影データ収集を行った。線量推定アルゴリズムを実測値推定、距離補正、後方散乱推定、の3つの観点から構築検討した。